

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 475

| | | | | | |
|--------|--------|------|-----------------------------|-------------|-------------|
| 政策体系 | 24 | 事業分類 | ソフト事業 | 所管部局 | 農林商工部 商工観光課 |
| 会計 | 一般会計 | 科目 | 7. 商工費 - 1. 商工費 - 3. 観光振 現年 | | |
| 事業名 | 観光協会事業 | | | | |
| 細事業名 | 観光協会事業 | | | | |
| 評価表作成者 | | | | 農林商工部 商工観光課 | 橋本千代 |

1. 事業の概要

観光地としての南丹市のレベルアップと知名度の向上を図り、観光ネットワーク体制を確立するため、市内の観光協会の運営及び事業実施を支援する。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

観光地としてのそれぞれの地域の特性を生かしたレベルアップと知名度向上につなげ、施策目標として定める「観光入込客数200万人」を目指す。

② 事業を実施する必要性

観光の拠点である観光協会の円滑な運営に支援を行うことにより、観光協会の事業展開、体制の整備ができるとともに、他団体とのネットワーク体制の確立により、より地域に根付いたもてなしや体験で観光客を迎えている。地域特有の事業展開となっており、現段階では各協会での運営が必要である。

3. 事業費の推移

| | | 単位 | 平19決算 | 平20決算 | 平21決算 | 平22決算 | 平23予算 | 平24計画 | 平25計画 |
|-------------------------|----------|-----|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 決算額または計画額 | | 千円 | 10,654 | 8,523 | 6,760 | 5,690 | 6,760 | 6,760 | 6,760 |
| うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等 | | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 財源内訳 | 使用料・手数料等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 国・府支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 10,654 | 8,523 | 6,760 | 5,690 | 6,760 | 6,760 | 6,760 |
| 職員等の従事人員 | | 人/年 | — | 0.65 | 0.15 | 0.10 | | | |
| 人件費 | | 千円 | — | 4,308 | 1,063 | 700 | | | |
| 事業費総額 | | 千円 | — | 12,831 | 7,823 | 6,390 | | | |

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

| | |
|--------------|------------|
| 美山町観光協会（補助金） | 2,800,000円 |
| 日吉町観光協会（補助金） | 2,300,000円 |
| 八木町観光協会（補助金） | 540,000円 |
| るり溪観光協会（補助金） | 50,000円 |

5. 事業結果の概要

観光協会へ支援することにより、それぞれが地域の特性を活かした事業展開を進める一助となっているものの、自主財源が限られている中で、活動が制限されてきている部分もある。限られた予算の中で、地域に根付いた協会ならではの、観光情報の提供や誘客・集客への取り組み、来訪者への応対等を行い入込客の増加につながった。

6. 活動の詳細

| | | |
|---|---|---|
| | | |
| ●ひよし水の杜フェスタに参加 | 10月24日（日） | フリーマーケットを担当 |
| ●テレビ・ラジオ・雑誌等のマスコミ取材対応や撮影協力、旅行会社、視察などの対応 | 通年 | 各種の取材への協力や視察・旅行会社の下見対応により誘客に繋がっている。 |
| ●観光PR | 通年 | 各地での観光PRにより、深山の魅力発信、誘客に繋がっている。 |
| ●京都府観光連盟との連携及び広報活動（京都観光宣伝促進会議・観光パンフレットの配布など） | 通年 | 美山町の魅力・観光情報を京都府観光連盟の事業に参加し、美山の観光資源を南丹エリアの観光の目玉としてPRすることで誘客に繋がっている。 |
| ●美山町観光協会HP「美山ナビ」による観光情報の発信 | 通年 | 多くの情報を効率的に発信している。 |
| ●第15回美しい美山の景観写真コンテスト開催 | 受付平成23年2月1日～28日 | 応募数345点、応募者数149人。入選20点。 |
| ●観光パンフレットの作成 | | 観光協会による配布だけでなく、京都府内の観光案内所や南丹市内各所での配布を行い広く南丹市の観光PRに活用されている。 |
| ●ひよし夏祭り2010の開催 | 7月18日（日） | スプリングスひよしを活用したイベントの実施により、市内外から多くの観光客を迎えている。花火大会をメインに朝市や魚つかみなど。地域振興に寄与できた。 |
| ●環境保全活動 | 通年 | 植林した木への施肥等。 |
| ●第12回日吉町観光写真コンクール開催 | 受付：1月14日～2月28日 | 応募数109点、応募者数59人。 |
| ●観光宣伝 観光協会窓口における観光案内 日吉町観光協会HPでの観光情報提供 各種イベント参加によるPR活動 | 通年 | 観光客からの問合せへの対応や情報発信ができた。 |
| ●パラグライダー練習場事業の推進 ○イベント実施：PJA公認「京の桜カップ」2010、クリスマスイベント、JPA公認「京の都カップ」2011 | 通年 「京の桜カップ」4月17日～18日 クリスマスイベント12月19日 「京の都カップ」3月12日～13日 | コアな対象者に各日に芦を向けてもらうとともに、安定した運営に繋がった。また、イベント開催により地元住民との交流や全国からの大会参加者を迎えることができた。 |
| ●大鳥羽冒険の森を中心とした活動 森林整備、イベント開催、モデルフォレスト運動 | 通年 | 冒険の森を中心とした、自然を活かした取り組みを行なった。 |
| ●第5回年忘れ講演会の実施 | 12月11日 | 「くらしと仏法」「笑いの効用」をテーマに講演会。 |
| るり溪観光協会 | | |
| ●観光宣伝 | 通年 | 観光情報の提供や新聞への広告掲載などにより誘客に繋がった。 |
| 日吉町観光協会 | | |
| ●おやじ塾の開催 | | 地域の素材を活かした田舎体験を通じ、都市住民との交流を図った。今年度は、しめ縄作りのみとなった。 |
| 八木町観光協会 | | |

| | | |
|-------------------------|------|--|
| ●第17回大堰川さくら祭りの実施 | 4月3日 | 八木町のシンボルでもある大堰川河川敷でのイベント。 |
| 美山町観光協会 | | |
| ●観光協会窓口における観光案内、観光情報の発信 | 通年 | 観光案内窓口として来訪者も多く、観光客への観光スポットの案内や観光関係団体への情報発信を行っている。 |

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

本市の観光振興の中心的な役割を担う各観光協会への運営及び事業支援補助は、「観光入込客数200万人」を目指す本市としては必要不可欠である。
各観光協会の事業内容は、地域の特性を生かした活動内容となっているが南丹市発足5年目を迎え、広大な市域を網羅する観光ネットワーク構築の観点からも、各観光協会の合併(一元化)についての議論も必要である。また、年々削減を行っている運営支援の補助金の観点からも、各々の観光協会の存続は厳しいものと考えられる。
*「観光」から「感交」への事業も展開し、入込数の増加を図りたい。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

本市の観光振興の中心的な役割を担う各観光協会への運営及び事業支援補助は、「観光入込客数200万人」を目指す本市としては必要不可欠である。
各観光協会の事業内容は、地域の特性を生かした活動内容となっているが南丹市発足5年目を迎え、広大な市域を網羅する観光ネットワーク構築の観点からも、各観光協会の合併(一元化)についての議論も必要である。また、年々削減を行っている運営支援の補助金の観点からも、各々の観光協会の存続は厳しいものと考えられる。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
地域の特色を生かしたイベントより、如何に入込客を増やすかを議論した。
- ②当該事業のアピール事項
観光協会の円滑な運営により、ネットワークの確立、より地域に根付いたもてなしや体験で観光客を迎えている。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
市域の広い当市の場合、より広域的なネットワークの確立により、事業展開を併せて考える必要もある。